

# 羽越本線

# 洪水防止連携整備事業

河道掘削・樹木伐採／特殊堤連結／堤防腹付盛土



国土交通省北陸地方整備局

## 阿賀野川河川事務所

連携整備事業



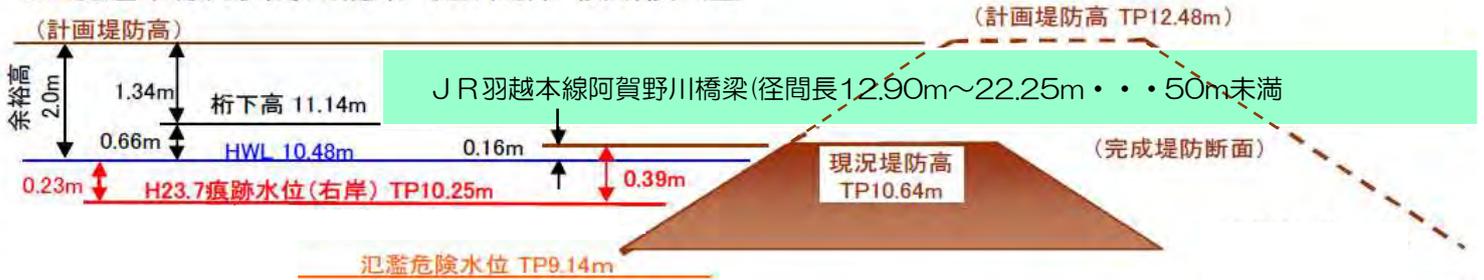
# 現状と課題

阿賀野市下里地区のＪＲ羽越本線阿賀野川橋りょう（右岸側）と交差する阿賀野川の右岸堤防は、橋桁の構造により、堤防は必要な高さに対し約1.8m低くなっています。平成23年7月新潟・福島豪雨では、阿賀浦橋上流において洪水の水位が計画高水位（H.W.L）を超過しました。橋桁と堤防との開口部から洪水があふれる恐れがあり、地元消防団30余名により5時間25分をかけ、この開口部に土のう1,657袋による積み土のう工が行われ、洪水氾濫を防止しました。現在では、製作済みの土のう1,700袋を常時保管し、水防活動を3時間で完了できるように改善するとともに、危機管理型水位計、簡易カメラを設置して、監視体制を強化しています。

しかしながら、令和元年東日本台風においても地元消防団にて約460袋の土のうを設置するなど、近年頻繁に水防活動を必要とする洪水に見舞われているとともに、現状においても次のような課題が残っています。

- ＪＲ羽越本線阿賀野川橋りょう（大正元年完成）は、桁下の余裕高及び橋脚間の径間長が不足している。このため、橋梁地点において流木・塵芥等により水位が堰上げられる危険が高い。
- 依然として開口部があるので洪水時には水防活動による土のう積みが必要である、消防団の高齢化等による迅速・確実な実施が懸念される。

JR羽越本線阿賀野川橋梁（右岸部）横断模式図



軌道と特殊堤の隙間の様子



流木等が橋桁直上流にたまっている様子 (H23.7新潟・福島豪雨)



堤防・橋桁に迫る水位 (R1.10東日本台風)



平成16年7月  
新潟・福島豪雨の様子



軌道と堤防の隙間に土のうを積んでいる  
水防活動の様子  
(H23.7新潟・福島豪雨)



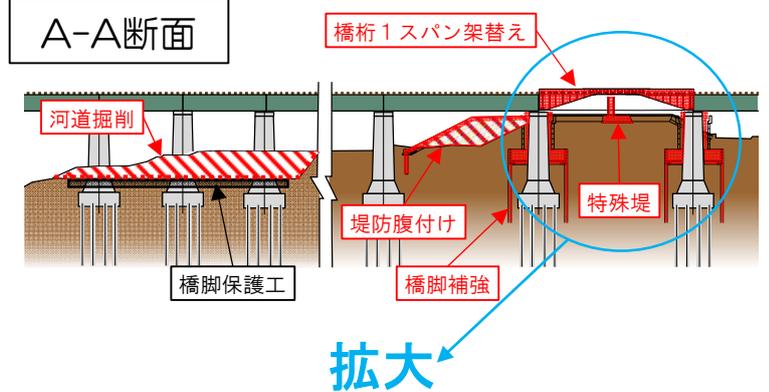
約80名の消防団員による  
水防活動の様子  
(R1.10東日本台風)

# 事業内容

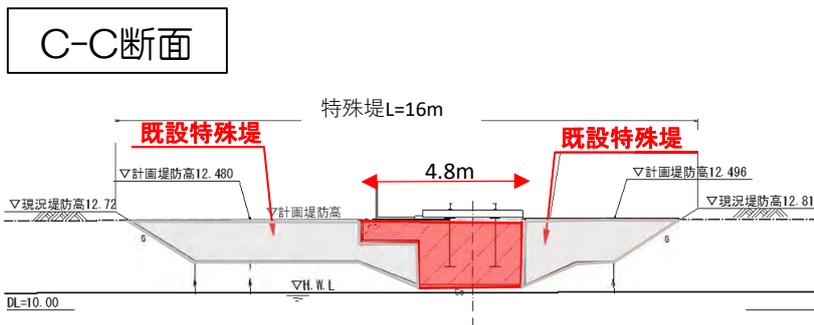
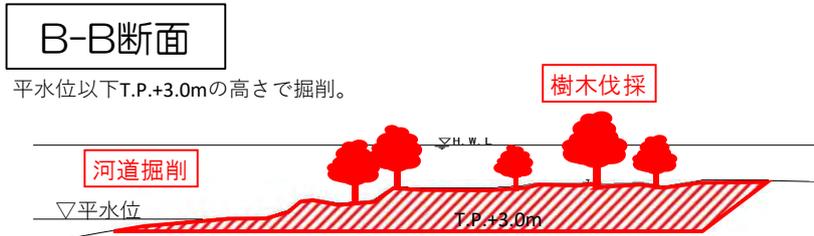
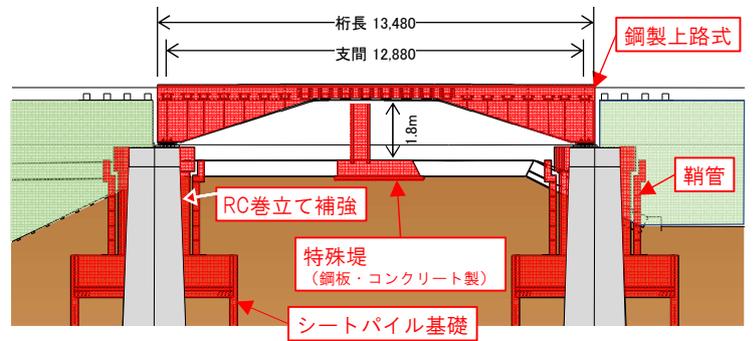
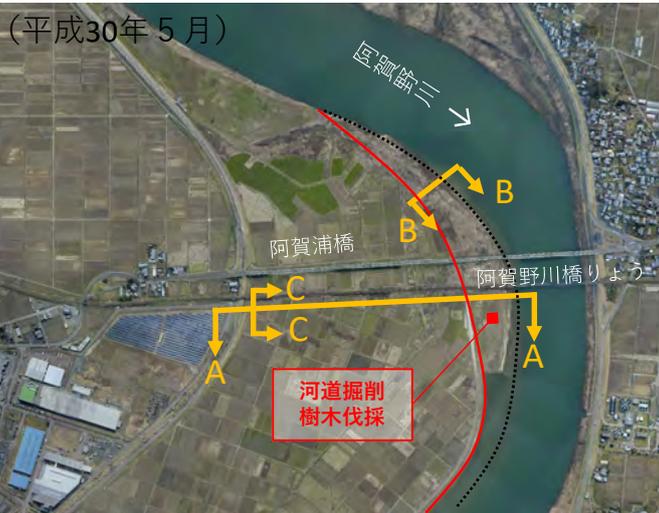
※ 河道掘削と樹木伐採は、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により実施します。

本事業は、阿賀野川右岸(阿賀野市下里地区)において、河道掘削及び樹木伐採を行うことで、洪水の流下断面を広げ、洪水時の水位を下げるものです。また、この事業と連携して、JR羽越本線阿賀野川橋りょう右岸側において、洪水が越水しないようにするために橋梁を架替した後に、特殊堤を設置して堤防を連結し、橋桁下部との開口部を塞ぎます。

- 平成27年度～令和2年度
  - ・河道掘削 掘削土砂量 24万m<sup>3</sup>
  - ・樹木伐採
- 令和2年度～
  - ・橋梁桁製作・架替 1式
  - ・橋脚補強工 2基
  - ・特殊堤 設置延長 4.8m
  - ・堤防拡幅 延長 13.5m



## ＜河道掘削・樹木伐採状況＞



## 樹木伐採でのコスト削減の取組

【無害な萌芽抑制技術の開発】

～文部科学大臣表彰(創意工夫功労者賞)を受賞～

伐採木の切り株に塩や木酢液を注入し枯死させることで、除根を不要とし、コスト削減を行っています。



## 三二連携

河道掘削で発生する土砂は、阿賀野川で堤防幅が不足する地区の堤防に活用する他、「阿賀野バイパス事業(国土交通省)」「阿賀野道の駅事業(阿賀野市)」の盛土に利用されております。

## 事業効果

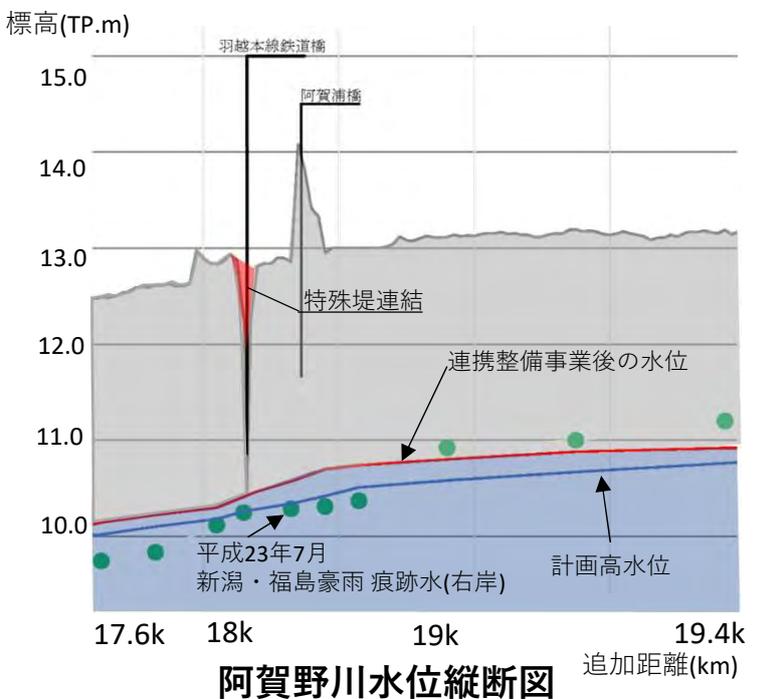
平成23年7月新潟・福島豪雨時の洪水を安全に流下できます。

河道掘削、樹木伐採、右岸JR羽越本線橋梁部の特殊堤連結、腹付盛土を行うことにより、観測史上最高水位を記録した平成23年7月新潟・福島豪雨と同規模の洪水が発生しても、安全に流下できます。

避難勧告回数が4割低減し、水防活動が大幅に削減されます。

河道掘削、樹木伐採、特殊堤連結、堤防腹付盛土を行うことにより、治水安全度が向上し、今後避難勧告発令の目安となる氾濫危険水位が、現在よりも高い水位に設定できることから、避難勧告回数が4割低減します。（1949年～2019年実績で10回から6回に減少）

また、特殊堤を連結することで、橋梁と特殊堤との隙間がなくなるので、水防上必要な土のうは、前後の堤防高より低い分で済み、積み土のう3段を行う程度となり、平成23年新潟・福島豪雨時の1657袋に比べ9割弱削減されます。



阿賀野川水位縦断面図

## スケジュール

### 河道掘削・樹木伐採

平成27年度より進めてきた河道掘削、樹木伐採は、「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」により事業進捗を図り、令和2年度の完成を目指します。

### 特殊堤連結・堤防腹付盛土

- 特殊堤（コンクリートによる堤防）連結のため必要な橋梁架替に関する「設計協定」を平成30年10月にJR東日本と締結し、令和2年3月に設計を完了させ、工事に関する「基本協定」を令和2年3月に締結しました
- 今後、工事の具体的な内容に関する「施行協定」を締結し、令和4年度の事業完成を目指します

国土交通省 北陸地方整備局

阿賀野川河川事務所



きらり四季彩 阿賀野川

〒956-0032 新潟県新潟市秋葉区南町14-28

TEL 0250-22-2211 FAX 0250-24-3005

阿賀野川河川事務所ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/agano/>

